



■計画概要

計画敷地 : 品川区南大井 4-3-27、4-3-14
 用途地域 : 準工業地域、近隣商業地域
 防火地域 : 準防火地域、防火地域
 建ぺい率 : 60%、80%
 容積率 : 200%、300%
 日影規制 : 4時間/2.5時間、5時間/3時間 (測定面 4m)
 主要用途 : 小学校、幼稚園
 敷地面積 : 7,743.32㎡
 建築面積 : 3,415.28㎡ (建ぺい率/44.11%)
 延床面積 : 12,390.77㎡ (容積率/157.97%)
 規模及び構造 : 校舎棟 鉄筋コンクリート造/5階建
 園舎棟 鉄骨造/3階建
 建物高さ : 校舎棟 24.36m
 園舎棟 15.70m

■設計コンセプト

- 公園の景観を生かした学びの場
「浜川スクールパーク」
づくり

 - 敷地外周は公園と連続した緑豊かな空間を形成することで、地域の緑地景観を拡充します。
 - 狭小敷地を有効活用した建物配置により良好な学習環境を整備するとともに、公園を借景とする学びの場をつくります。
 - 見通しのよい校庭にすることで子どもたちが安心して活動でき、地域に身近に感じられる空間をつくります。
 - 幼稚園は1階に集約して安全で使い易い配置とし、独立した園庭により園児が安心して活動できる空間をつくります。
- 子どもたちがつながる
「ラーニングパーク」
の魅力づくり

 - ラーニングパークにはオープンスペース、学習コーナー、学年図書コーナー等を配置し、多様な学習形態にも対応できるとともに、教室周りの空間の拡張性を高めます。
 - お互いの動きを見ることができ、子どもたちが出会い、集まるコミュニティ空間として整備します。
- 子どもたちの
運動の場づくり

 - 限られた敷地の中で30学級相当数の学校運営を円滑に推進できるように、運動の場を最大限に確保します。
 - 体育館は校舎棟および園舎棟にそれぞれ設置することで、学年に応じた利用を可能にするるとともに、工事期間中も体育館を確保します。
 - 屋上プールは開閉式の屋根・可動床設備を導入するとともに、プール利用時以外は屋内運動場として活用できるよう整備します。
- 子どもたち・地域に
安全で安心な
教育環境づくり

 - 正門やグラウンドに面して管理諸室を配置し、子どもたちが安心して学習できる環境をつくります。
 - 道路に沿って歩道状空地を設けることで、子どもたちや歩行者の安全性および利便性の向上を図ります。
 - 災害時の避難所として十分な耐震性を確保するとともに、海拔が低いことを考慮した体育館の配置等により、避難所機能の強化を図ります。
- 体験、実感できる
エコスクールづくり

 - 自然エネルギーの有効活用や省エネルギーの効果等を学習できる施設、ならびに環境負荷の低減につながる施設をつくります。

■新旧比較表

		浜川小学校・浜川幼稚園	
		改築前	改築後
全体	面積	敷地面積	7,743.32㎡
		延床面積	5,826.64㎡ 校舎 5,381.78㎡ 園舎 444.86㎡
階数		校舎 地上3階 園舎 地上2階	校舎棟 地上5階 園舎棟 地上3階
小学校	教室	室数	普通教室 18室 特別支援学級 3室 特別支援教室 1室
	特別教室	室数	4室
	多目的室	室数	1室
	体育館	面積	486㎡ (舞台除く)
幼稚園	保育室	室数	2室
	預かり保育室	室数	1室
グラウンド		面積	1,698㎡
園庭		面積	314㎡
改築後		面積	12,390.77㎡ 校舎棟 10,620.59㎡ 園舎棟 1,661.18㎡ 体育倉庫棟 96.00㎡ 屋外倉庫棟 13.00㎡
改築後		面積	2,310㎡
改築後		面積	360㎡

■建物配置比較



